

7 研修生のページ

研修を始めて3ヶ月

育成調教技術者養成研修 第26期生

今春4月にBTCの第26期育成調教技術者養成研修が開講して早いもので3ヶ月が経過しました。そこで、この間の様々な経験への感想や今後の抱負などを研修生6名に語っていただきました。研修生18名全員がこの1年間でたくましく成長してくれることを期待しています。

過去・今・未来

井手 智史

僕は昨年の6月から東静内の生産牧場でお世話になっていたのですが、その時にこの研修の事を教えてもらい興味を持ったので入講しました。

入講するまでは馬に乗ったことがなく、馬に乗って走る姿を想像することができませんでした。ただ、「軽く乗れるだろう」と思っていたのですが、いざ騎乗訓練が始まり馬に乗ってみると速さと高さにすごく驚きました。初心者という事もあり、円馬場での練習から始まったのですが駆歩の時は本当に怖く「早く止めて!!」と声にならない叫びが心の中で響いていました。しかし、それも3ヶ月経った今では懐かしい思い出となりました。

円馬場での練習は卒業し覆馬場・角馬場を経て今では走路での騎乗訓練で日々努力しています。3ヶ月前までは恐々としていた騎乗も今では楽しく乗れるようになったのも、教官と同期の仲間が居たからこそこれた道だと思っています。

この研修自体は一年間という短い期間で終わりますが、ここでの経験や仲間は一生の宝物になるという事を胸に抱き、残り約9ヶ月の研修後には入講時よりも数段レベルが上がった自分を想像できるようにするため、今日も訓練に精を出しています。



円馬場での初騎乗

一流のホースマンを目指して

三好 翔太

私は一流ホースマンを目指すためBTCに入講しました。研修では一日がすごく早く終わってしまうので、一日一日がとても大切です。入講した時は、作業すべてに時間がかかってしまい、一つのことをするだけで時間があっという間に過ぎていきます。私は1ヶ月くらい競馬場で作業をしていた事もあり、馬房の糞上げは慣れていたのですが、研修と競馬場では全部のやり方が違って最初はすごく困りました。しかし、教官の親切でわかりやすい教え方でスムーズに出来るようになりました。

入講して少しの間は上手に馬に乗れなくて、すごく嫌でした。しかし、「ホースマンは乗る事だけではホースマンではない。」という教官の一言には鳥肌が立ち、頑張ろうと思いまし

た。それから各種作業を一生懸命やりました。そして、入講して初めての馬に乗れる日がきました。最初は馬を誘導することや、馬上でバランスを取る事もぎこちなかったのです。しかし、自分専用の馬に騎乗するようになった時は、すごく嬉しかったです。そして、一日一日があっという間に経ち3ヶ月を向かえた今は、走路での単走や併走をやっています。走路では馬のテンションも変わるので、馬を抑えたりバランスを取るのはとても難しいです。横に教官が付いて乗り方など指示を出してくれて、それを自分でやってみると、すごくうまく乗れたりするので安心して走路で乗っています。

今思うと最初より技術は随分向上したと思います。しかし、このままの技術では一流のホースマンには絶対になれません。残りの研修期間で馬についてさらに勉強を一杯して騎乗技術もさらに上をめざして頑張りたいです。



十分余裕を持って騎乗できるようになりました。

騎乗歴 3ヶ月

杉野 良貴

4月に自分がこの育成調教技術者養成研修に入講した時は、期待と不安で胸が一杯でしたが、一日一日が早く過ぎ、こうして振り返るとまだ3ヶ月しか経っていないのかという気持ちの方が強いです。

中学生の時に競馬に魅了されて以来、趣味

は競馬でした。大学生の時に“好きな事をやりたい”と思い入講できてようやく夢への一歩を踏み出した気持ちです。それでも、今まで馬に乗ったこともなければ、触れたこともなかったので、馬を初めて間近で見た時の感想はただただかくて「怖い」の一言でした。

本格的に研修が始まってからは、一日一日が新しく思えることだらけで一杯でした。例えば、手入れの仕方なども、手順と道具を頭に入れておかないと、間違った手入れになってしまいます。手入れや厩舎作業全般に慣れてきた頃、騎乗が研修に入ってきました。とにかく、全く騎乗経験がなかったので、同じく未経験者が多いC班から研修が始まりました。C班では基本的な事をびっしり教わりました。最初、軽速歩のリズムを取れなかったのに、リズムも当たり前のように取れていることに驚きを隠せません。軽速歩のリズムが取れなかった状態から約3ヶ月が過ぎて、今は800mの走路で併歩を行なうまでになっています。一日一鞍できることよりできないことの方が多くありますが、自分の課題を一つ一つ確実にクリアしていきたいです。

終了までの残り9ヶ月間、寮の仲間たちとの関係を大切に、牧場に求められるホースマンになれるよう日々の研修に励んでいきたいです。



騎乗訓練後のリラックスタイム グラスピッキング

入講してから3ヶ月

石田 祥幸

私達26期生は全国各地から集まり、現在、下は15歳から上は24歳までの18名で訓練に励んでいます。

私は研修生の代表として、寮長という仕事を任されています。寮長としての仕事全てできているかわかりませんが、他の研修生や教官にサポートして頂いて、今のところ楽しい研修生活を送っています。入講してから3ヶ月で私達は確実に成長してきました。私達26期生は、乗馬未経験者が経験者より多く、いわゆる初心者ばかりでした。私自身も、この研修に入講する前は馬に触れたことがほとんどない一人でした。

騎乗訓練は最初、騎乗技術のレベルに合わせて3班に分かれて行なっていました。私は騎乗未経験者を中心としたC班でまず馬に慣れる事からスタートしました。ロング場で常歩と軽速歩の訓練から始まり、その後2週間程で覆馬場でスラロームの訓練。1ヶ月が経つ頃にはA班やB班と合流し、駆歩を交えた部班運動が行なえるまでになりました。現在は800mトラックでの2騎併走の訓練に取り組んでいます。

今では誰が騎乗経験者で誰が未経験者なのかわからないほど全員がレベルアップしています。厩舎作業もほとんどの人が未経験者でしたが、今では皆スムーズに作業をこなしています。

この3ヶ月間は本当にあっという間でした。色々な事を学び、色々な事に一生懸命励みました。この研修も残り9ヶ月間。もうあと少ししか時間がありません。残された時間で一人前のホースマンになる事は簡単ではありませんが、今まで以上に訓練、講義に励み、少しでも一人前のホースマン、一流のホースマンに近づけるように、残された期間を頑張っていきたいと思います。



シミュレーターでのデモンストレーション

3ヶ月を振り返って

中元 裕子

今年の3月から馬の仕事をしたと思い、BTC育成調教技術者養成研修に入講してから、あっという間に7月になりました。私はBTCに入る前まで違う乗馬センターで馬と触れ合った事が3年間ありましたが、入講して3ヶ月間、研修で学んだ全てが新鮮で大きく勉強になりました。

馬に乗った事がある私は、A班として覆馬場で騎乗訓練をスタートしました。私は、今までずっと乗馬用の乗り方しかできなかったため、競走用の乗り方に直すのに時間がかかりましたが、必死に頑張っ直しました。そしてあっという間にB、C班と合流し、騎乗訓練をするようになり、いつの間にか皆で角馬場や走路で騎乗訓練を行なっていました。

自分自身は今まで騎乗で上手いかなかった所などで悩んでいた事が何回もありました。時には失敗もする事もありましたが、今となっては最初の頃よりも、たいぶ成長したなって実感するようになりました。

自分自身は「一流のホースマン」になるため、今の自分の目標を目指して現在騎乗させてもらっているような育成馬に騎乗しなければいけないので、この実習を活かしているんな馬に教わってどんな馬でも乗りこなせるようになりたいと思っています。

BTCでの研修の一つ一つ、騎乗の一鞍一鞍が、私の騎乗技術を3ヶ月の短期間で確実に成長させてくれていると思いました。そして、私は「一流のホースマン」になるために、向上心を持ち続けてこれからもどんどん上達できるように頑張っていきたいと思っています。



浦河競馬 人間繫駕競走

この3ヶ月を振り返って...

木下 章

今年の4月、馬に乗ることを仕事にしたいと思い、第26期生として入講してから気付けばもう7月になっていました。改めて振り返ってみると、本当にあっという間の3ヶ月でした。

私はこの研修を受ける前に、乗馬や生産牧場で実際に働いており、サラブレッドに触るのは初めてではなかったのですが、ここでは騎乗や厩舎作業はもちろんそれ以外にもトレーニングセールの見学や診療所、色々な牧場への見学など普通なら体験できない様な事もたくさんあり、学ぶ事、新しい発見が多く、一日一日が本当に貴重な経験になっています。

今まで働いてきた牧場や乗馬との違いに戸惑う事も多くありましたが、大分慣れてきました。

特に、騎乗に関しては、今までの乗馬とは使う馬具から手綱の持ち方、騎乗姿勢など異なる事がたくさんあり、初めはとても違和感があり戸惑いました。

今でも満足のいく騎乗が出来ず思い悩んでしましますが、教官達の熱心な指導のおかげで今までできなかった事がいつの間にかできていたり、本当に少しずつですが自分自身の成長を実感しています。

これからもできる事が増えてくればその分求められる事も多くなるし、訓練の内容も少しずつ難しくなっていきます。

私は技術的に上手な方ではないので、この先の訓練に不安や悩みは尽きませんが、ここにはそんな私を全力でサポートしてくれる頼れる教官の方々と、助け合い励まし合える同期の仲間がたくさんいます。この3ヶ月、本当にたくさんの人に支えられ、この研修生活を送ることができていると感じています。

「自分の為」と思い入講したこの研修ですが、今は「応援して下さいの人達のため」にも、この研修を自分としても一層充実したものにし、後悔のない1年にしたいと思います。

(平成20年7月記)



グラス坂路での騎乗訓練